

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 東洋水産株式会社

上場取引所 東

コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堤 殷

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 及川 雅晴

TEL 03-3458-5035

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	242,117	0.5	26,394	24.2	27,451	23.8	16,520	36.3
21年3月期第3四半期	243,239		21,244		22,177		12,119	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	161.95	
21年3月期第3四半期	118.86	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	231,615	168,012	68.6	1,554.22
21年3月期	218,681	158,688	67.2	1,442.47

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 158,828百万円 21年3月期 147,030百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		15.00		15.00	30.00
22年3月期		15.00			
22年3月期 (予想)				25.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	316,000	1.9	30,000	20.1	31,000	16.0	18,500	33.8	181.19

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	110,881,044株	21年3月期	110,881,044株
-------------------	-------------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数	22年3月期第3四半期	8,689,647株	21年3月期	8,951,287株
---------	-------------	------------	--------	------------

期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	102,014,594株	21年3月期第3四半期	101,966,470株
--------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国に端を発した世界的金融危機による景気後退が長期化する中、生産や輸出は持ち直しの動きもみられ、企業収益の減少は穏やかになりつつありますが、依然として失業率が高水準にある等雇用情勢は厳しい状況が続いており、景気は先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は「Smiles for All.すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は前年同四半期に比べ0.5%減収の242,117百万円、営業利益は前年同四半期に比べ24.2%増益の26,394百万円、経常利益は前年同四半期に比べ23.8%増益の27,451百万円、四半期純利益は前年同四半期に比べ36.3%増益の16,520百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

魚介類部門は、引き続き世界的経済不況の影響下で販売競争の激化、消費者の生活防衛意識の高まり、低価格志向が顕著で水産を取巻く環境は厳しさが一層増しました。年末商戦においても、一部おせち需要等はあったものの、魚卵を始めとして高級マグロ・カニ等の相場下落で、水産業界は前期に増して厳しい年末となりました。そのような状況の下、当社は数の子・海老・マグロ等が伸長しましたが、主力商品の鮭・カニ・サバ等の販売が低迷した結果、売上高は前年同四半期に比べ11.1%減収の26,074百万円、営業利益は前年同四半期に比べ55.7%減益の391百万円となりました。

加工食品部門は、国内即席麺事業では、引き続き企業スローガンの下で主力品の拡売に努めました。カップ麺では、「赤いきつねうどん」「緑のためき天そば」を中心とした和風麺の「“みんなに笑顔を”プレゼントキャンペーン」や「麺づくり」の「快適！ママグッズプレゼントキャンペーン」を実施し、販売をサポートしました。また、大盛タイプのオープンライスカップ麺「ごつ盛り」を新発売しました。価格対応の品揃えを強化するとともにカップ麺全体の販売強化を行った結果、国内カップ麺は増収となりました。また、袋麺においては、和風麺の最需要期となる年末に向けて主力の「カレーうどん」「天ぷらそば」を中心に拡売しましたが、やや前年割れの売上となりました。その結果、即席麺事業全体としては、増収となりました。生麺事業は、業界全体が経済不況による売上低迷の中で低価格競争が激化しております。当社も主力の焼そば・ラーメンは順調な推移となりましたが、うどん類が影響を受け全体では前年並みの売上となりました。冷凍食品事業は、冷凍麺・冷凍野菜は計画通りの推移となりましたが、調理品類の惣菜部門の売上マイナスをカバー出来ず全体では前年微減となりました。米飯部門、魚肉ハムソーセージ部門及び調味料部門の売上は、適正売価の販促に努めた結果、減収となりました。スープ類は、おこげスープ等の新製品が順調で増収となりました。これらの結果、加工食品部門全体の売上高は前年同四半期に比べ0.6%増収の202,811百万円、営業利益は前年同四半期に比べ29.3%増益の24,779百万円となりました。

冷蔵庫部門は、国内の消費低迷と荷主の在庫圧縮により輸入品を中心に在庫量が落ち込みました。この結果、冷蔵庫部門全体では売上高は前年同四半期に比べ5.6%減収の10,071百万円、営業利益は前年同四半期に比べ8.9%増益の747百万円となりました。

その他部門は、主に輸入牛肉の販売並びに不動産賃貸であります。売上高は前年同四半期に比べ87.5%増収の3,161百万円、営業利益は前年同四半期に比べ2.2%減益の497百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本は、加工食品部門において増収となったものの、魚介類部門及び冷蔵庫部門において減収となった結果、売上高は前年同四半期に比べ1.9%減収の198,328百万円となり、営業利益は前年同四半期に比べ3.0%増益の16,825百万円となりました。

北米は、即席麺事業の売上げが順調に推移し、売上高は前年同四半期に比べ6.7%増収の43,789百万円となりました。営業利益は値上げ効果と原材料価格の下落によって、前年同四半期に比べ94.1%増益の9,540百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は12,934百万円増加し231,615百万円、純資産は9,324百万円増加し168,012百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に受取手形及び売掛金、建設仮勘定が増加し、有価証券が減少いたしました。負債は、主に支払手形及び買掛金が増加し、未払法人税等が減少いたしました。純資産は、主に利益剰余金が増加いたしました。

この結果、自己資本比率は68.6%、1株当たり純資産は1,554円22銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ11,174百万円減少し、38,363百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ2,964百万円増加の15,115百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額の増加により資金が減少した一方、税金等調整前四半期純利益の増加、たな卸資産の減少により資金が増加したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ11,257百万円増加の19,641百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ1,181百万円増加の5,175百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出が増加したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

本日発表した「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しましたとおり、通期の連結業績予想については、売上高は景気悪化や個人消費の節約志向・内食化の影響を受け、デフレ傾向が顕著となる中、前回予想を下回る見込みであります。利益面では、原料の価格動向に安定が見られたことに加え、全社的なコスト削減および積極的な営業活動を行ったことから前回予想を上回る見込みであります。今後、不測の事態があった場合は、速やかに公表いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,360	33,000
受取手形及び売掛金	50,045	39,191
有価証券	8,500	17,000
商品及び製品	14,195	15,326
仕掛品	172	165
原材料及び貯蔵品	4,011	4,451
繰延税金資産	1,666	1,856
その他	3,513	2,989
貸倒引当金	543	556
流動資産合計	111,922	113,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,437	35,854
機械装置及び運搬具(純額)	20,691	16,290
土地	31,376	31,527
建設仮勘定	9,708	2,776
その他(純額)	1,113	1,124
有形固定資産合計	101,327	87,574
無形固定資産		
のれん	84	121
その他	1,652	1,812
無形固定資産合計	1,736	1,934
投資その他の資産		
投資有価証券	14,480	13,594
繰延税金資産	1,317	1,392
その他	829	761
投資その他の資産合計	16,628	15,748
固定資産合計	119,692	105,257
資産合計	231,615	218,681

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,681	20,439
短期借入金	1,608	1,535
1年内返済予定の長期借入金	52	82
未払法人税等	2,455	5,035
未払事業所税	47	65
未払消費税等	573	593
役員賞与引当金	123	248
未払費用	16,552	15,898
繰延税金負債	28	-
その他	2,749	631
流動負債合計	46,875	44,529
固定負債		
長期借入金	77	116
繰延税金負債	1,031	999
退職給付引当金	14,169	13,608
役員退職慰労引当金	105	121
負ののれん	713	-
その他	629	618
固定負債合計	16,727	15,463
負債合計	63,602	59,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,516	21,412
利益剰余金	135,057	121,503
自己株式	8,070	7,157
株主資本合計	168,472	154,727
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	132	260
繰延ヘッジ損益	159	0
為替換算調整勘定	9,616	7,437
評価・換算差額等合計	9,643	7,697
少数株主持分	9,184	11,658
純資産合計	168,012	158,688
負債純資産合計	231,615	218,681

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	243,239	242,117
売上原価	156,038	149,166
売上総利益	87,201	92,951
販売費及び一般管理費	65,957	66,556
営業利益	21,244	26,394
営業外収益		
受取利息	532	297
受取配当金	296	216
賃貸収入	240	303
持分法による投資利益	116	179
雑収入	493	352
営業外収益合計	1,678	1,349
営業外費用		
支払利息	33	21
貸倒引当金繰入額	54	-
賃貸収入原価	48	46
為替差損	457	102
雑損失	151	122
営業外費用合計	744	293
経常利益	22,177	27,451
特別利益		
固定資産売却益	23	7
貸倒引当金戻入額	-	20
補助金収入	-	21
その他	13	1
特別利益合計	37	50
特別損失		
貸倒引当金繰入額	255	-
固定資産除売却損	242	181
投資有価証券評価損	579	2
減損損失	-	186
その他	79	9
特別損失合計	1,156	380
税金等調整前四半期純利益	21,057	27,121
法人税、住民税及び事業税	8,590	9,731
法人税等調整額	143	163
法人税等合計	8,446	9,894
少数株主利益	490	706
四半期純利益	12,119	16,520

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	21,057	27,121
減価償却費	6,290	6,179
減損損失	21	186
のれん償却額	39	38
負ののれん償却額	-	39
持分法による投資損益(は益)	116	179
投資有価証券評価損益(は益)	579	2
退職給付引当金の増減額(は減少)	488	560
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	61	15
役員賞与引当金の増減額(は減少)	39	124
貸倒引当金の増減額(は減少)	309	12
受取利息及び受取配当金	828	513
支払利息	33	21
為替差損益(は益)	457	102
有形固定資産除売却損益(は益)	218	173
売上債権の増減額(は増加)	11,221	10,977
たな卸資産の増減額(は増加)	2,460	1,393
仕入債務の増減額(は減少)	3,771	2,375
未払費用の増減額(は減少)	1,246	754
その他	728	347
小計	19,135	27,396
利息及び配当金の受取額	808	526
利息の支払額	35	22
法人税等の支払額	7,757	12,785
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,151	15,115
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	5,040	416
定期預金の払戻による収入	4,930	382
有形固定資産の取得による支出	8,990	19,290
有形固定資産の売却による収入	81	105
投資有価証券の取得による支出	582	65
投資有価証券の売却による収入	12	7
貸付けによる支出	1,524	1,448
貸付金の回収による収入	1,598	1,426
無形固定資産の取得による支出	192	345
事業譲渡による収入	1,320	-
その他	3	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,383	19,641

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,778	2,521
短期借入金の返済による支出	2,284	2,447
長期借入金の返済による支出	84	69
自己株式の取得による支出	-	2,005
配当金の支払額	3,060	2,966
少数株主への配当金の支払額	199	204
その他	143	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,994	5,175
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,702	1,473
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,929	11,174
現金及び現金同等物の期首残高	37,570	49,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,640	38,363

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	魚介類 部門 (百万円)	加工食品 部門 (百万円)	冷蔵庫 部門 (百万円)	その他 部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	29,320	201,560	10,671	1,686	243,239		243,239
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,803	306	781	587	3,478	(3,478)	
計	31,123	201,867	11,453	2,273	246,717	(3,478)	243,239
営業利益	884	19,160	685	508	21,238	5	21,244

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	魚介類 部門 (百万円)	加工食品 部門 (百万円)	冷蔵庫 部門 (百万円)	その他 部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	26,074	202,811	10,071	3,161	242,117		242,117
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,568	439	785	454	3,249	(3,249)	
計	27,642	203,251	10,857	3,615	245,366	(3,249)	242,117
営業利益	391	24,779	747	497	26,415	(20)	26,394

(注) 1 事業区分は業種、製品の種類及び取引形態により区分しております。

2 各事業の内容及び主要な製品の名称

- (1) 魚介類部門.....魚介
- (2) 加工食品部門.....即席麺・生麺・冷凍食品・米飯
- (3) 冷蔵庫部門.....保管・凍結
- (4) その他部門.....不動産賃貸

3 決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額は、営業外損益(為替差損益)として処理しております。前第3四半期連結累計期間における営業外損益(為替差損益)のセグメント別内訳は、「魚介類部門」が468百万円(差損)、「加工食品部門」が24百万円(差益)であります。当第3四半期連結累計期間における営業外損益(為替差損益)のセグメント別内訳は、「魚介類部門」が68百万円(差損)、「加工食品部門」が1百万円(差益)であります。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	計(百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	202,190	41,048	243,239		243,239
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		3,546	3,546	(3,546)	
計	202,190	44,595	246,785	(3,546)	243,239
営業利益	16,330	4,914	21,244	(0)	21,244

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	計(百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	198,328	43,789	242,117		242,117
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		4,063	4,063	(4,063)	
計	198,328	47,853	246,181	(4,063)	242,117
営業利益	16,825	9,540	26,365	28	26,394

(注) 1 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分方法は、地理的近接度によっております。

(2) 北米区分に属する主な国又は地域は、米国・メキシコであります。

2 決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額は、営業外損益(為替差損益)として処理しております。前第3四半期連結累計期間における営業外損益(為替差損益)のセグメント別内訳は、「北米」が443百万円(差損)であります。当第3四半期連結累計期間における営業外損益(為替差損益)のセグメント別内訳は、「北米」が67百万円(差損)であります。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	41,068	459	41,527
連結売上高(百万円)			243,239
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.9	0.2	17.1

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	43,792	214	44,007
連結売上高(百万円)			242,117
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	18.1	0.1	18.2

(注) 1 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分方法は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

北米.....米国・メキシコ

その他の地域.....中国・台湾・韓国

2 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
魚介類部門	6,681	93.2
加工食品部門	158,904	101.9
合計	165,585	101.5

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
加工食品部門	14,004	95.0	18	47.8
合計	14,004	95.0	18	47.8

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 当社製品はすべて見込生産によって製造されており、受注生産は行っておりません。
3 外注先からの発注により受注生産を行っている会社は、フクシマフーズ(株)、(株)フレッシュダイナー、石狩東洋(株)及びミツワデイリー(株)であります。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
魚介類部門	26,074	88.9
加工食品部門	202,811	100.6
冷蔵庫部門	10,071	94.4
その他部門	3,161	187.5
合計	242,117	99.5

- (注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
三井物産(株)	63,197	26.0	67,869	28.0

- 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。